

新潟県

公民館月報

昭和58年7月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟 (0252) 24-6073】【振替新潟0-4049】
発行人 会長 石井 耕一
編集人 事務局長 本田 清
【定価1部 100円 7共・年価 1,200円】

新潟県公民館大会案内特集



(県大会会場となる新井文化ホール・完成したばかりのすばらしい施設)

第34回

新潟県公民館大会案内

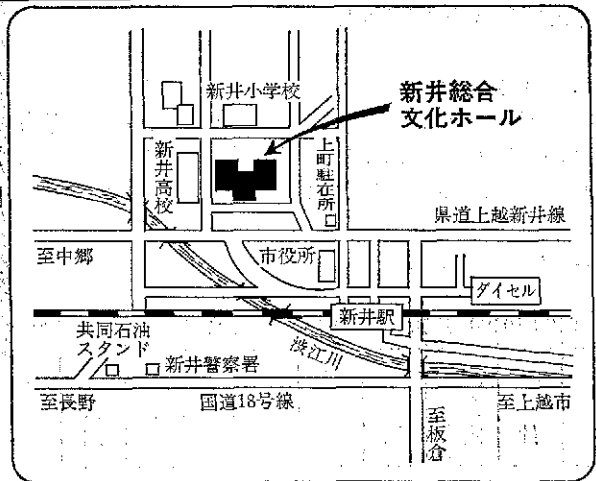
「二十一世紀を望む公民館活動の指標は何か」を主題にして、第34回新潟県公民館大会を二面要項のように開催いたします。

ご多忙とは存じますが、関係者および一般の多数の方々のご参加をお待ち申し上げます。

昭和58年7月

新潟県公民館連合会会長

石井 耕一



県公民館大会参加者募集中!

申し込み切りは8月5日

第34回新潟県公民館大会要項

1. 趣 旨

公民館は、草創以来30余年、地域住民の「集い学び・結ぶ」場としての諸条件整備につとめ、市町村における社会教育の基幹施設としての役割を果たしてきた。

この間、めまぐるしい社会の変貌は、コミュニティー方式の台頭、民間教育文化産業の進出など、施設・機能の専門化・複合化等をすすめ、複雑にして多極的な生涯教育体系をかたちづくり公民館の独自性を侵食しつつづけている。

このときにあたり、「二十一世紀を望む公民館活動の指標は何か」について究明し、新しい時代への対応策を見出そうとするものである。

2. 主 催

新潟県公民館連合会・新潟県公民館振興市町村長連盟・新潟県教育委員会・上越地区公民館連絡協議会・新井市・新井市教育委員会

3. 主 管

上越地区公民館連絡協議会・新井市公民館

4. 後 援

新潟県市長会・新潟県市議会議員会・新潟県町村会・新潟県町村議会議員会・新潟県社会教育委員会連絡協議会・新潟県社会教育主事連絡協議会・新潟県体育指導委員協議会・新潟県社会教育協会・新潟県市町村教育委員会連合会・新潟県連合青年団・新潟県婦人連盟・新潟県小・中学校PTA連合会・新潟県高等学校PTA連合会・あしたの新潟県を創る運動協会・(株)新潟日報社・NHK新潟放送局・(株)新潟放送・(株)新潟総合テレビ・(株)テレビ新潟放送網

5. 期 日

昭和58年8月26日(金)

6. 会 場

新井総合文化ホール
所在地・新井市上町9番2号

7. 参 加 者

市町村長・同議会議長・同議会議員・同教育委員・同社会教育委員・同公民館運営委員・同公民館長・主事・職員・社会教主事・社会教指導員・社会教育関係団体役員・一般住民等

8. 日 程

9:00 10:00 11:00 12:20 13:10 14:00 15:00 16:00

受 付	開 表 会 彰 式 式	講 演	昼 食	パ ネ ル 討 議	閉 会 式
--------	----------------------------	--------	--------	-----------------------	-------------

9. 基 調 講 演

「わが国経済の現状と展望」

講師 廣江 運 弘

(経済企画庁調査局長)

10. パネル討議

テーマ 「二十一世紀を望む公民館活動の指標は何か」

構 成

	立 場	所 属	氏 名
登 壇 者	司 会	新潟県社会教育委員	矢 島 三 吉
	利 用 者	新井市連合婦人会長	丸 山 タ ミ
	職 員	三条市中央公民館長	小 倉 三 治
	複 合 施 設 者 関 係 者	板倉町公民館長	宮 下 桂 二
	研 究 者	上越教育大学教授	前 田 幹
	市 町 村 者 理 事 者	新 井 市 長	池 田 正 晴
	行政担当者	新潟県社会教育課長	大 島 有 史

11. 会食と話し合い

参加者の昼食は主催者において用意する。

12. 参加費と参加申し込み

- 参加者は一人につき1,700円とする。
- 参加者は、別に定める様式の申込書(市町村ごとにとりまとめること)に参加費一人につき1,700円を添え8月5日までに大会現地事務局に申し込むこと。
- 参加申込書には市町村の申込責任者名、参加者名の到着予定時刻、利用車輛の車種台数等を記入のこと。
- 参加申し込みを受けた大会現地事務局は、参加証と参加費の受領書を市町村申込責任者あてに一括送付する。
- 市町村申込責任者は、大会当日受付に参加証を示し大会資料を一括受領すること。
- 参加申し込みの取り消し、変更については、8月10日までとし、その以降のものについては参加費は返還せず、大会当日または大会終了後市町村申込責任者あて大会資料を送付する。

13. 宿泊について

参加者の宿舎等は原則として各自で設営することとするが、不明のときは、大会現地事務局へ照会されたい。

14. 大会現地事務局

〒944 新井市白山町4-1-20

新井市公民館内

第34回新潟県公民館大会現地事務局

電 話 02557-2-3600

振込銀行 第四銀行新井支店(普)1030910

大会テーマ「二十一世紀を望む公民館活動の指標は何か」

はどうするべきか (9) 第5回全国公研集会記録から

社でかかわらせるかを真剣に考えるべきである。

20代30代の参加が少ないというが、企業内同和教育を推進して、職場の中にかかわっていけるように配慮することを考えたい。

- 2 身のまわりの差別を取り上げて、部落問題につなげる。女性・障害者・被差別部落の人、みんな生まれによって個性・才能が生かされていない。生活のあり方から差別を直視し、もろもろの差別と部落差別の共通点を取り上げたい。物を大事にすることも子どもに教えたい。親が先生が、物・人を大事にしていれば、子どもはそれとおりに育つものである。お互いの人権を尊重し合うことも、体験の中から育つものである。

第二分集会

助言者 長野県同和教育推進協議会長 高山政臣
 司会者 埼玉県深谷市八基公民館主事 須長欣二
 基調発表者 兵庫県赤穂市有年公民館長 沼田 覚

基調報告

- ・同和教育を進めていくための公民館の役割について考えていくことが大切である。
- ・公民館で実施する各種の学級・講座の中に同和教育を組み入れていくこと。
- ・地域の実態に即しての同和教育をどのように進めていくか。
- ・地域での同和教育の教材・学習方法の工夫。
- ・学社連携による地域ぐるみ・家族ぐるみの同和教育をどのように進めていくか。
- ・地域改善対策特別措置法の理解をどのように図るか。

討議の柱

- (1) 地域での取り組みをどう図るか。
- (2) 被差別部落の人たちとの相互理解をどう深めるか。
- (3) 地域での指導者の確保をどう図るか。

研究討議

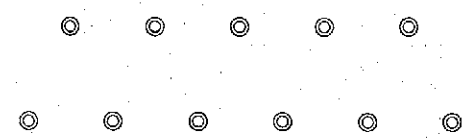
- (1) 地域での取り組みについて
 - ・公民館で同和教育を進めていく中で、参加者の理解に巾があり、学習内容・方法を工夫することが大事である。
 - ・学習は講演会方式でなく、少人数によるグループ学習を取り入れ相互に語り合う中で深めたい。
 - ・身近に人権の侵されている事実と部落差別をかかわらせながら理解を深めることが有効である。
 - ・地域ぐるみの同和教育を進めるには、PTAと公民館・学校との連携を密にしなが、内容・方法等考えていくこと

が大事である。

- ・中央公民館等へ集めるのではなく、分館・常会等へ出向き研修会を実施、参加者も多く、内容も深まりよかった。
- (2) 被差別部落の人たちと相互理解を深めることについて
 - ・被差別部落の人たちと直接話し合いをもち、差別の体験等を聞く中で、同和問題に対する自分の考えを改められた。
 - ・自分達から積極的に被差別部落に入りこみ、同和問題を自分のものにしていく努力が必要である。
- (3) 指導者の確保について
 - ・各分館より推薦された指導者が年6回の講座で学習し修了証を受け、各地域でリーダーとなって活躍している。
 - ・推進委員制度を取り入れ、所定の講座を受講し地域で活躍し、さらに、この講座の修了者がOB会を組織し、さらに研修を深めている。

助言者のまとめ

- 1. 旧同対法13年間の取り組みの見返しをしてみる必要がある。旧同対法は一定の成果はあったものと思われる。住民の理解、関心を高めた。人間の尊厳について考えられるようになった。
- 2. 同和問題ほど建て前と本音の使い分けをやっているものはないと思う。どうしてもそこを避けて通ろうとする人が多い。この人たちの意識の改革を図るよう内容・方法等考えることが必要だ。
- 3. 同和教育に対する考えのずれから、ねたみ意識・ねた子を起す的な意見もある。しかし、部落差別や非合理的な差別を心底からとらえようとしているか。部落差別の実態をどう認識しているか考えてみたい。
- 3. 学習者の年代のちがいが、理解の深淺などあるので、内容・方法を工夫していただきたい。初心者には、同和問題の基礎を教育すること。知的理解だけでなく心情的共感を持たせる内容にすること。
- 4. 同和教育は、行政・社会・学校等が責任分野ということではなく連携を密にして進めなくてはならない。あらゆる角度で学習活動を推進して、住民の意識の高揚に努めるよう図ってほしい。
- 5. 住民の実態調査の結果をうのみにせず、アンケートの繰返しが必要であり、そのことが啓発につながる。そして、部落解放への展望を図ることが大切である。



公民館のあるべき姿と今日的指標

— 総 集 版 —

全公連では15年前に発行した「公民館のあるべき姿と今日的指標」の復刻再刊の要望に答えて、新しく第二次の成案を合本し、「総集版」を発行した。

◎内 容

第一次成案
 解 説
 第二次成案(新しく合本)
 A 5判 350ページ 1冊 2,500円(送料別)

◎お申し込み先

〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
 県公民館連合会事務局・電話 0252(24)6073

同和教育を推進するための課題・これから

第5回全国公民館研究集会在去る10月13日・14日長野市で開かれ、このたび記録がまとまった。

この大会では、管理経営部会13分科会、事業活動部会27分科会が設定され管理・経営・事業活動の具体策について熱心に討議された。ここに内容の一部を要約して紹介していきたい。

第一分散会

助言者 長野県教育委員会同和教育課指導主事

西山 昌 世

司会者 京都府園部町中央公民館長 高木 茂

基調発表者 長野県豊科町教育委員会同和教育係長

中野 武

討議の柱

- 1 地域ぐるみの推進をどう区るか。
- 2 身のまわりのもろもろの差別を部落差別に結びつけるにはどうしたらよいか。
- 3 被差別部落の人たちとの相互理解をどう深めるか。

研究討議

- 1 地域ぐるみの推進について
 - ・今までの同和教育は、運動体が主体的にすすめてきた傾向があった。部落差別の撤廃は国民的課題であるはずだから地域主体の教育をすすめるべきではないか。
 - ・部落問題を国民的課題としていくことが大きな問題となっている。差別問題はどうしてもなくすのだ、ということで協議会のメンバーの自己変革を促している。
 - ・学習会は約65%の出席率をもっているが、それは、地域における小単位の協力があるからである。しかし、20代・30代の出席率が極端に少ない。
 - ・小・中学校では同和教育がすすんでいるのに、高校に行けば逃避してしまう。
 - ・同和教育に特効薬はない。主体的取り組みの繰り返しである。積み重ねが必要だ。日的意識・住民意識をもって学習会に望みたい。
 - ・同和教育が家族ぐるみで行われているところがある。住みよい社会を形成する、その根本が同和教育である。地域ぐるみで、ねばり強く進めなければならない。
 - ・自己変革と言っているが、個人個人の自覚の上に、地域ぐるみを考えるべきだ。
 - ・青年層の対応については、重要なので、大きな課題だと思う。20代後半の主婦は家事に追われ、参加しにくい。保育園の父母会と連携して行えないだろうか。
- 2 もろもろの差別と部落差別の結びつきについて
 - ・民主主義社会というが、自由・平等がほんとうに守られているのか、女性・高齢者・障害者は平等にされているか。

現実の差別もみるべきである。それが人権感覚の育成につながる。

- ・部落差別と一般差別を混同してはいけない。被差別部落の人たちが受けている部落差別の本質を見落してはいけない。
- ・もろもろの差別と部落差別は共通する面もある。しかし部落差別は世襲的であり、一般差別は個別的意味が強い。
- ・世間一般の差別はすべて同じ解決を望むが、中心課題である部落差別がぼやけてしまわないように指導者は気をつけたい。
- 3 被差別部落の人たちと相互理解を深めることについて
 - ・被差別部落地区の人たちと文化祭を行っている。
 - ・私のところは被差別部落はないが、学級の中で同和教育を行い講演を聞いたが、懇談会の席で同和地区の人たちと話をし、学びたいと意見がでた。共に学習し、共に悩み、打を明けあう必要性を感じた。
 - ・婦人会で被差別部落の人たちと懇談会等を行っているが、役員が変わってしまうため、どうしても深まらない傾向にある。
 - ・解放子ども会の交流を行っている。子ども会大会で上げた風船を拾ってくれた住民から手紙が届き、今でも交流が続いている。

助言者のまとめ

- 1 地域ぐるみの推進として、学習会への参加について討議されたが、「役員のおさんが友達を誘い、その友達がまた他の人を誘ってきた」の例のように、誘い合うことにより広がったこともある。

指導者の問題が出たが、若い層の指導者の必要性があること、指導者は少数精鋭が良いのか、指導者養成講座を行って、指導的立場の人を増し、みんなが指導者のようになることが望ましいのか、地域の実情に即してもう一度考えていきたい。

高校での教育について出されたが、被差別部落出身者の高校生が、小・中学校と同和地区の生徒みんないっしょに学習してきたが、高校に入ったとたん一人になり孤独感を味わった。その時支えになったのは、まわりで被差別部落出身者でない友人がいっしょけんめいになって差別問題に取り組んでいる姿であったという。そのように地域でも支えられるように取り組みたいものである。

学校教育との連携については、学校にいても家にいても自分の子なのだから、わが子の教育をどのようにして学・

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

◎内容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規定・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

A5判34ページ 1部300円(送料実費)

◎お申し込み先

〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073

出雲崎町中央公民館

新生公民館繁盛記

(32)

公民館は花ざかり、これまでですべて三十七館の公民館が登場。好評をいただいています。これからもう少しご紹介いたします。

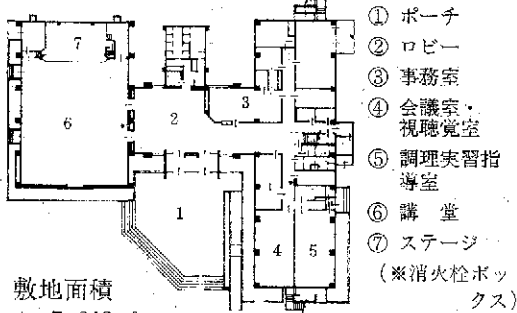
総合文化活動の場

ユニークな古文書保管室



平面図

1F 構造 鉄筋コンクリート3階建



敷地面積 7,643m²
建物面積 2,157m²

2F

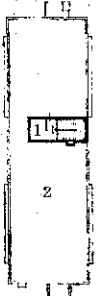
- ① 研修室 A
- ② " B
- ③ " C
- ④ " D
- ⑤ " E
- ⑥ " F



3F

塔屋

- ① 楽焼室
- ② 屋上



- ① 図書室
- ② 郷土資料室
- ③ 古文書保管室



町民の希いが集約される。そのものが制約されていた。これを、昨年十一月竣工したのがこの旧出雲崎町(海岸地区)旧西越を何とかした。この熱い希いが集約され、社教委、公運審、図書館、次は総合グラウンド、さらには二スゴートが計画されている。

連帯感の醸成は容易でなかった。一方は漁業、一方は農業中心のラオケ施設のある和室の大広間

そのものが制約されていた。これを、昨年十一月竣工したのがこの旧出雲崎町(海岸地区)旧西越を何とかした。この熱い希いが集約され、社教委、公運審、図書館、次は総合グラウンド、さらには二スゴートが計画されている。

連帯感の醸成は容易でなかった。一方は漁業、一方は農業中心のラオケ施設のある和室の大広間

経済基盤、自然環境、文化的伝統の長い歴史の中から育まれた真実な郷土をもつ生活意識と市民性は、行政・経済・文化活動に感応の相違があること、相互にその長所美点を吸収することからも悪影響が、広い集会所に育まれることなどはなかった。しかし、最も大切な精神的連携感が向かい合った。今はその限界を乗り越え、新たな総合的な活動が、新鮮な気分を溢れさせながら花ざかりと云ってよい。

誇れる生涯教育センター
調理・楽焼・手芸・工作・茶道の奥技研修室、視聴覚教室から小会議室、芸術発表をしながらのカラオケ施設のある和室の大広間

その冷感な環境と兵に好評であるが、広い集会所に育まれることなどはなかった。しかし、最も大切な精神的連携感が向かい合った。今はその限界を乗り越え、新たな総合的な活動が、新鮮な気分を溢れさせながら花ざかりと云ってよい。

誇れる生涯教育センター
調理・楽焼・手芸・工作・茶道の奥技研修室、視聴覚教室から小会議室、芸術発表をしながらのカラオケ施設のある和室の大広間

(出雲崎公民館長 小林隆治)

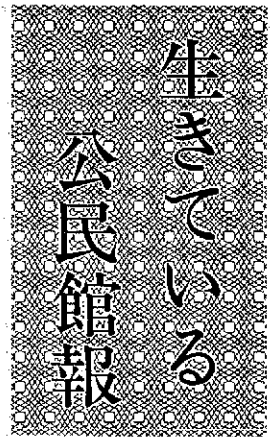
町民の希いが集約される。そのものが制約されていた。これを、昨年十一月竣工したのがこの旧出雲崎町(海岸地区)旧西越を何とかした。この熱い希いが集約され、社教委、公運審、図書館、次は総合グラウンド、さらには二スゴートが計画されている。

連帯感の醸成は容易でなかった。一方は漁業、一方は農業中心のラオケ施設のある和室の大広間

その冷感な環境と兵に好評であるが、広い集会所に育まれることなどはなかった。しかし、最も大切な精神的連携感が向かい合った。今はその限界を乗り越え、新たな総合的な活動が、新鮮な気分を溢れさせながら花ざかりと云ってよい。

誇れる生涯教育センター
調理・楽焼・手芸・工作・茶道の奥技研修室、視聴覚教室から小会議室、芸術発表をしながらのカラオケ施設のある和室の大広間

(出雲崎公民館長 小林隆治)



見附市新潟公民館の「公民館だより」創刊以来八号を迎えたばかりの若い館報である。

「公民館竣工記念号」と銘打った一月号には、新生公民館にける期待ということでも市議へのアンケート、地区代表のよるこびのことばなど明るい記事がいっぱいである。とくに六面以降に特集した「新潟を社会教育のメッカに」と題した座談会記事は、農協組合長、ママさんバレークラブ代表、PTA会長、区長などがそれぞれ立場から、公民館事業に対する期待と要望が語られ、生き生きとしている。とくに顔写真は各ページともしっかりしたものを用いられていることもこころよい。

B5版8ページだでの本格的なスタイル、今後の成長がたのしみである。

にいがた公民館だより 春 公民館工友会 特集号

にいがた公民館だより 第8号 1983年1月5日発行

にいがた公民館だより 第3号 1983年1月5日発行

プロフィール 上越市立公民館主任 篠宮マリ子さん (43才)

あの頃のこと

抛りどころとしての館(2)

伊藤茂治

学校の先生とともに

昭和二十九年は山田村と女川村が合併して私共の村は関川村になりました。同二十九年は青年団も合併、関川村連合青年団として新発足、婦人会も関川村婦人連絡協議会としてついにまとまりました。同時に公民館も関川村公民館として活動をはじめました。三十年代に入ってもまだ青年公民館、看板公民館の二言葉が聞かれました。進駐軍の指導もあり他県では施設を先につくったところもあると聞きましたが、新潟県では何よりも公民館の活動と、公民館が中心となつて各団体や、婦人、青少年とともに真摯にどの組織もこの生き甲斐を感じておりました。三十年代に入つても映画機を揃つていり遊藝場も盛んでした。現在では考えられないことですが、村内でも上手に入れば後援部まで学校へ泊めてもら

うこともしばしば、そんな折は部落の人たちや、学校の校長先生や若い先生方と夜おそくまで話しあひ、親しくして頂きいろいろと協力して頂く事ができました。部隊巡回はテレビが出てきても続きました。初めの頃のテレビの普及率は低く、テレビの入った家に近所の人たちが集まって楽しむ状態でした。当時私共の村では小学校学区の中心として、青年

戦前からのこと、小学校の先生に夜手をして頂いたり、宿直の先生のことへ話しに行ったり、とにかく小学校は学区の中心施設でした。私共公民館職員もこれらの小学校を拠点として、当時はまだ珍しかったテープレコーダーや幻灯機を揃つていって青年遊藝、婦人遊藝、農業遊藝等々地域の要請に応えるよう講師をお願したり資料を持ちたりして各地区を巡りました。

看板公民館からの脱皮
三十年代の中はになりますと次三項対策の課題がでてまいりました。

た。地域や青年団の皆さんと一緒に彼らの出稼先との交渉をやったり、慰問のことまで取り組んだことが思ひ出されます。

そんなことをやっているうちに、青年も婦人も、小学校区や部落でなく皆が一緒に話したり考えたり学習したりする中心施設が必要だという意見が強くなり、特に合併後旧村意識が残っているもの

を早く一掃し、他地区の人たちと一緒に集まれる施設、すなわち、公民館を何とかしてつくりたいということになりました。

公民館の果たす今日的役割

●社会教育映画

生きがいを求めて

公民館の果たす今日的役割

活用の方法

この映画は、職員や公民館利用グループのリーダーが中心となって、公民館の普及発展をめざして次のような活用ができます。

- ◎公民館を拠点とした住みよい地域づくりを考える。(コミュニティづくりを話しあう教材)
- ◎青少年の健全育成について考え話しあう。(非行防止対策を考える教材)
- ◎小学生・中学生に公民館を学習させる。(公民館見学者のための手引き)
- ◎公民館でおこなっている様々な事業紹介と参加呼びかけ。(活動を通した生きがいづくり)
- ◎公民館の目的や果たす役割を正しく理解させる。
- ◎社会教育関係団体のあり方について考える。
- ◎人々の心のふれあいについて考える。(ボランティアの心を学ぶ)
- ◎公民館の近代的施設の一部について紹介する。
- ◎公民館の実施している研究集会を紹介する。
- ◎職員や公民館運営審議会委員の役割を考える。
- ◎公民館の歴史や公民館協会(県公連)の活動状況を紹介する。

*その他、公民館について話しあう資料・教材として活用する。

企画・監修/埼玉県公民館協会
製作/株式会社映像埼玉
時間/25分間
価格/160,000円
埼玉県公民館協会 内務課
浦和市高砂3-15-1 県教育局社会教育課内
〒336 ☎0488(22)9162 (直通)

十六年の部落、二千世帯以上の者を集めるに成功して、くれました。

婦人会は公民館建設費の一部に米一八合運動を展開し、米のかわりは十円ということと、これに新潟地震、加えて関谷中学校の火災もあり、四十年は中学生体育館の新築、四十一年は水害で十戸も流

失する被害があり、四十一年には八・二八羽越水害で壊滅的な被害をうけて公民館建設は夢となりそうでした。

災害を乗り越えて
こんな状態のなか八・二八水害の復旧は、国や県、それに全国の皆様の協力で順調に進み、公民館もいよいよ復興記念として建設することになりました。

あながき
県公民館大会の参加申し込みはあながきになりましたが、八月初は八月五日、二ページの大会要項を御覧のうえ、現地事務局の新井市公民館までお申し込みください。

当時の私共は温泉のある公民館をというのが夢でした。村には温泉が四カ所もあり、折角つくるな

ら婦人も青年も老人も集まるところにできる公民館であり、温泉もあるという特徴のある公民館にしたいと考えたのでした。村の理事者の方々と理解を示してくれ

ますが、小学校七校、中学校二校、分校二校もあるところで学校施設、建設面積一、〇二四平方メートルの改修その他で大変であったこと

も事実です。それに昭和三十八年には三八地震で被害をうけ、三十九年には団体、オリンピックの年に新発地、加えて関谷中学校の火災もあり、四十一年は中学生体育館の新築、四十一年は水害で十戸も流

失する被害があり、四十一年には八・二八羽越水害で壊滅的な被害をうけて公民館建設は夢となりそうでした。

失する被害があり、四十一年には八・二八羽越水害で壊滅的な被害をうけて公民館建設は夢となりそうでした。

災害を乗り越えて
こんな状態のなか八・二八水害の復旧は、国や県、それに全国の皆様の協力で順調に進み、公民館もいよいよ復興記念として建設することになりました。

ますが、小学校七校、中学校二校、分校二校もあるところで学校施設、建設面積一、〇二四平方メートルの改修その他で大変であったこと

も事実です。それに昭和三十八年には三八地震で被害をうけ、三十九年には団体、オリンピックの年に新発地、加えて関谷中学校の火災もあり、四十一年は中学生体育館の新築、四十一年は水害で十戸も流

失する被害があり、四十一年には八・二八羽越水害で壊滅的な被害をうけて公民館建設は夢となりそうでした。

失する被害があり、四十一年には八・二八羽越水害で壊滅的な被害をうけて公民館建設は夢となりそうでした。

災害を乗り越えて
こんな状態のなか八・二八水害の復旧は、国や県、それに全国の皆様の協力で順調に進み、公民館もいよいよ復興記念として建設することになりました。

ますが、小学校七校、中学校二校、分校二校もあるところで学校施設、建設面積一、〇二四平方メートルの改修その他で大変であったこと

も事実です。それに昭和三十八年には三八地震で被害をうけ、三十九年には団体、オリンピックの年に新発地、加えて関谷中学校の火災もあり、四十一年は中学生体育館の新築、四十一年は水害で十戸も流

失する被害があり、四十一年には八・二八羽越水害で壊滅的な被害をうけて公民館建設は夢となりそうでした。